

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第38期第3四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日) |
| 【会社名】 | クリエートメディック株式会社 |
| 【英訳名】 | CREATE MEDIC CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 吉野 周三 |
| 【本店の所在の場所】 | 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号 |
| 【電話番号】 | (045)943-2611(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役執行役員管理統括部長 佐藤 正浩 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号 |
| 【電話番号】 | (045)943-2611(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役執行役員管理統括部長 佐藤 正浩 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第37期 第3四半期連結 累計期間 | 第38期 第3四半期連結 累計期間 | 第37期 第3四半期連結 会計期間 | 第38期 第3四半期連結 会計期間 | 第37期 |
|--|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 1月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 1月1日 至平成23年 9月30日 | 自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日 | 自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日 | 自平成22年 1月1日 至平成22年 12月31日 |
| 売上高(千円) | 6,385,800 | 6,496,475 | 1,882,241 | 2,065,099 | 9,097,359 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 577,924 | 478,012 | 12,950 | 56,813 | 1,113,257 |
| 四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円) | 365,894 | 330,199 | 1,173 | 44,678 | 667,541 |
| 純資産額(千円) | - | - | 10,475,954 | 10,710,971 | 10,756,579 |
| 総資産額(千円) | - | - | 14,143,056 | 14,563,635 | 14,744,227 |
| 1株当たり純資産額(円) | - | - | 1,089.34 | 1,113.78 | 1,118.52 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円) | 38.05 | 34.34 | 0.12 | 4.65 | 69.41 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | - | - | 74.1 | 73.5 | 73.0 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 376,452 | 524,096 | - | - | 672,213 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 351,120 | 306,763 | - | - | 670,168 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 183,470 | 316,446 | - | - | 191,172 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円) | - | - | 3,825,060 | 3,720,772 | 3,852,965 |
| 従業員数(人) | - | - | 674 [478] | 797 [493] | 674 [489] |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年9月30日現在

| | | |
|---------|-----|---------|
| 従業員数（人） | 797 | [493] |
|---------|-----|---------|

(注) 1. 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を [] 外数で記載しております。

2. 従業員数が当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間より58人増加しましたのは、当社グループのベトナムクリエートメディック有限会社における生産活動の本格稼働による製造人員の採用によるものであります。

(2) 提出会社の状況

平成23年9月30日現在

| | | |
|---------|-----|---------|
| 従業員数（人） | 398 | [141] |
|---------|-----|---------|

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第3四半期会計期間の平均人員を [] 外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1)生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績の製品系統別の内訳は、次のとおりであります。

| 製品系統別 | 金額(千円) | 前年同期比(%) |
|---------|-----------|----------|
| 泌尿器系 | 521,727 | 9.3 |
| 消化器系 | 916,800 | 5.4 |
| 外科系 | 215,780 | 14.9 |
| 血管系 | 219,372 | 4.2 |
| 看護・検査系他 | 81,615 | 18.8 |
| 合計 | 1,955,295 | 5.9 |

(注) 金額は標準販売価格によっております。

(2)製品仕入実績

当第3四半期連結会計期間における製品仕入実績の製品系統別の内訳は、次のとおりであります。

| 製品系統別 | 金額(千円) | 前年同期比(%) |
|---------|---------|----------|
| 泌尿器系 | 50,960 | 71.1 |
| 消化器系 | 1,652 | 642.5 |
| 外科系 | 61,884 | 54.0 |
| 血管系 | 125,112 | 15.4 |
| 看護・検査系他 | 39,254 | 5.7 |
| 合計 | 278,863 | 9.3 |

(注) 金額は仕入価格によっております。

(3)受注状況

当社グループは主として販売計画に基づき生産計画をたてておりますが、特注品とOEM向け及び輸出向けについては受注生産を行っております。

当第3四半期連結会計期間における受注状況を製品系統別ごとに示すと次のとおりであります。

| 製品系統別 | 受注高(千円) | 前年同期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同期比(%) |
|---------|-----------------------|-----------------|-----------------------|---------------------|
| 泌尿器系 | 98,662 (97,178) | 26.1 (25.7) | 104,913 (103,019) | 15.8 (16.2) |
| 消化器系 | 3,413 (959) | 43.8 (56.5) | 27,074 (24,620) | 215.8 (357.0) |
| 外科系 | 16,975 (2,399) | 14.9 (61.5) | 14,973 (2,734) | 12.6 (25.9) |
| 血管系 | 177,499 (-) | 52.6 (-) | 261,166 (-) | 14.8 (-) |
| 看護・検査系他 | 77,521 (4,593) | 22.5 (65.0) | 74,767 (10,098) | 113.2 (1,257.3) |
| 合計 | 374,073 (105,131) | 30.3 (18.7) | 482,894 (140,472) | 6.4 (42.6) |

(注) ()内の数字は内書の数字であり輸出受注高を示しております。総受注高に対する輸出受注高の割合は28.1%であります。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の製品系統別内訳は、次のとおりであります。

| 製品系統別 | 販売高(千円) | 前年同期比(%) |
|---------|-----------|----------|
| 泌尿器系 | 549,151 | 19.4 |
| 消化器系 | 743,998 | 11.5 |
| 外科系 | 250,422 | 14.1 |
| 血管系 | 350,292 | 3.0 |
| 看護・検査系他 | 165,024 | 2.4 |
| その他 | 6,209 | 24.5 |
| 合計 | 2,065,099 | 9.7 |

(注) 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間の主要な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

| 相手先 | 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) | |
|----------|---|-------|---|-------|
| | 金額(千円) | 割合(%) | 金額(千円) | 割合(%) |
| (株)根本杏林堂 | 256,026 | 13.6 | 252,248 | 12.2 |

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から少しずつ落ち着きを取り戻してきておりますが、欧州諸国の財政問題や急激な円高進行の影響を受けて景気の先行き不透明感が続いております。

当医療機器業界におきましては、公定価格の定期的な改定や市場競争激化によって医科材料は恒常的に価格が引き下げられており、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。このような状況の中、経営の効率化はもちろんのことですが、今まで以上に品質、安全性を確保することも経営上の重要な課題となってきました。

この当第3四半期連結会計期間は、引き続き主力製品を中心とする自社販売と中国での販売に重点をおいて活動を行なってまいりました。また、経費面では効率的な運用を行なう一方、原価につきましても一層の低減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は、自社販売、OEM販売、輸出販売、海外販売などすべての販売形態が増加したことによりまして、2,065百万円と前年同期比9.7%の増収となりました。

これらを販売形態別に見ますと、まず自社販売は1,498百万円（前年同期比6.4%増）となりました。製品系統別の内訳ですが、まず泌尿器系製品ではフォーリートレイキット類、膀胱瘻関連製品、セフティカテ（自己導尿用カテーテル）、採尿バッグなど一般的に数量・金額ともに増加しました。消化器系製品ではイレウスチューブ、経胃瘻腸用カテーテル、胃瘻クリニカルキット、内視鏡用ガイドワイヤーが順調に売上を伸ばしました。外科系製品ではPTCD関連製品、内視鏡下手術関連製品、気管切開チューブなどが増加しました。血管系製品では、主に単価下落の影響によってマイクロカテーテルが減少いたしました。最後に看護・検査系他製品では、組織採取関連のエースカットは増加しましたが、Yチューブ（注腸用カテーテル）、自動注腸装置、ドレープ関連製品が大きく減少いたしました。

OEM販売では一部の血管造影関連製品の受注が不足しましたが、外科系の喀痰用スπιツ管の売上が伸びたことにより339百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

輸出販売では、主に泌尿器系製品の膀胱穿刺カテーテル、消化器系製品の胃瘻造設術関連製品の受注が増加したことによりまして、139百万円（前年同期比96.7%増）となりました。

最後に海外販売ですが、中国国内での販売活動は、消化器系、泌尿器系、外科系などすべての系統が2桁の増加をした結果、81百万円（前年同期比37.4%増）となりました。

また、製品系統別の実績では、泌尿器系製品は549百万円（前年同期比19.4%増）、消化器系製品は743百万円（前年同期比11.5%増）、外科系製品は250百万円（前年同期比14.1%増）、血管系製品は350百万円（前年同期比3.0%減）、看護・検査系他製品は165百万円（前年同期比2.4%減）、その他で6百万円（前年同期比24.5%増）となっております。

一方、利益面につきましては売り上げが順調に増加したことによって、売上総利益は992百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は90百万円（前年同期比222.8%増）、経常利益は56百万円（前年同期は経常損失12百万円）、四半期純利益は44百万円（前年同期は四半期純損失1百万円）となりました。

(2)財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して180百万円減少し、14,563百万円となりました。これは、原材料及び貯蔵品の増加93百万円や国債の取得による投資有価証券の増加193百万円に対して、現金及び預金の減少132百万円や受取手形及び売掛金の減少484百万円が主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して134百万円減少し、3,852百万円となりました。これは、賞与引当金の増加123百万円に対して、支払手形及び買掛金の減少105百万円や未払法人税等の減少138百万円が主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して45百万円減少し、10,710百万円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加330百万円に対して、配当による利益剰余金の減少317百万円や為替変動による為替換算調整勘定の減少54百万円が主な要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) | 増減額 |
|------------------|---|---|-----|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 62 | 165 | 102 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 61 | 75 | 14 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 0 | 147 | 147 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,825 | 3,720 | 104 |

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は165百万円となりました。これは賞与引当金の増加115百万円や売上債権の減少138百万円による資金の増加に対し、たな卸資産の増加112百万円や法人税等の支払215百万円による資金の減少が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は75百万円となりました。これは有形固定資産の取得69百万円による資金の減少が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は147百万円となりました。これは配当金の支払140百万円による資金の減少が主な要因です。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、86百万円となっております。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

重要な設備計画の完了

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、完了したものは次のとおりであります。

平成23年9月30日現在

| 会社名 | 設備内容 | 必要性 | 投資額 (百万円) | 完成年月 |
|--------------------|-------|-------|--------------|---------|
| ベトナムクリエートメディック有限会社 | 生産設備他 | 工場の稼働 | 132 | 平成23年9月 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

重要な設備計画の変更

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。

新たに確定した重要な設備計画

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 30,000,000 |
| 計 | 30,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|----------------------------|---------------|
| 普通株式 | 9,664,327 | 9,664,327 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 9,664,327 | 9,664,327 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|--------------------------|---------------|--------------|------------|-----------|--------------|-------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | - | 9,664,327 | - | 1,461,735 | - | 1,486,022 |

(6)【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、中尾廣政氏から平成23年8月2日付けの変更報告書の写しの送付があり、平成23年8月2日現在で874,532株を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

なお、中尾廣政氏の変更報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券等の数(株) | 株券等保有割合(%) |
|--------|--------|------------|------------|
| 中尾 廣政 | 相模原市南区 | 874,532 | 9.05 |

当第3四半期会計期間において、公益財団法人 中尾奨学財団から平成23年8月2日付けの大量保有報告書の写しの送付があり、平成23年8月2日現在で600,000株保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

なお、公益財団法人 中尾奨学財団の大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券等の数(株) | 株券等保有割合(%) |
|---------------|-------------------|------------|------------|
| 公益財団法人 中尾奨学財団 | 横浜市緑区十日市場町885番17号 | 600,000 | 6.21 |

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 47,500 | - | 単元株式数100株 |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 9,606,600 | 96,066 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 10,227 | - | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 9,664,327 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 96,066 | - |

（注）「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式39株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| クリエートメディック株式会社 | 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号 | 47,500 | - | 47,500 | 0.49 |
| 計 | - | 47,500 | - | 47,500 | 0.49 |

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別 | 平成23年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 最高（円） | 870 | 870 | 849 | 822 | 809 | 815 | 809 | 813 | 815 |
| 最低（円） | 819 | 839 | 625 | 777 | 785 | 789 | 787 | 746 | 763 |

（注）最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部の公表によるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,633,872 | 3,766,065 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,891,160 | 3,375,859 |
| 有価証券 | 310,000 | 410,000 |
| 商品及び製品 | 1,325,686 | 1,286,805 |
| 仕掛品 | 542,405 | 479,869 |
| 原材料及び貯蔵品 | 483,671 | 390,088 |
| 繰延税金資産 | 167,398 | 100,445 |
| その他 | 87,682 | 74,816 |
| 貸倒引当金 | 1,000 | 9,000 |
| 流動資産合計 | 9,440,878 | 9,874,950 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,627,509 | 1,671,673 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 304,314 | 274,232 |
| 土地 | 1,485,088 | 1,485,088 |
| リース資産(純額) | 70,149 | 27,999 |
| 建設仮勘定 | 40,396 | 21,314 |
| その他(純額) | 98,449 | 100,197 |
| 有形固定資産合計 | 3,625,907 | 3,580,505 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 130,930 | 116,155 |
| その他 | 33,910 | 42,049 |
| 無形固定資産合計 | 164,840 | 158,204 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 740,333 | 546,853 |
| 繰延税金資産 | 441,377 | 448,212 |
| その他 | 154,933 | 138,011 |
| 貸倒引当金 | 4,636 | 2,510 |
| 投資その他の資産合計 | 1,332,007 | 1,130,566 |
| 固定資産合計 | 5,122,756 | 4,869,276 |
| 資産合計 | 14,563,635 | 14,744,227 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 886,429 | 991,708 |
| 短期借入金 | 1,145,000 | 1,045,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 77,493 | 90,642 |
| リース債務 | 25,303 | 13,770 |
| 未払法人税等 | 44,945 | 182,998 |
| 賞与引当金 | 152,687 | 28,941 |
| 役員賞与引当金 | 9,300 | 10,100 |
| その他 | 343,673 | 408,940 |
| 流動負債合計 | 2,684,832 | 2,772,101 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | - | 81,459 |
| リース債務 | 48,353 | 15,628 |
| 退職給付引当金 | 952,291 | 913,123 |
| 役員退職慰労引当金 | 164,284 | 205,335 |
| 資産除去債務 | 2,902 | - |
| 固定負債合計 | 1,167,830 | 1,215,547 |
| 負債合計 | 3,852,663 | 3,987,648 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,461,735 | 1,461,735 |
| 資本剰余金 | 1,486,022 | 1,486,022 |
| 利益剰余金 | 8,079,329 | 8,065,512 |
| 自己株式 | 34,359 | 34,328 |
| 株主資本合計 | 10,992,728 | 10,978,941 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,970 | 14,122 |
| 為替換算調整勘定 | 290,727 | 236,485 |
| 評価・換算差額等合計 | 281,757 | 222,362 |
| 純資産合計 | 10,710,971 | 10,756,579 |
| 負債純資産合計 | 14,563,635 | 14,744,227 |

(2)【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 6,385,800 | 6,496,475 |
| 売上原価 | 3,212,758 | 3,389,595 |
| 売上総利益 | 3,173,041 | 3,106,879 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,527,542 | 2,585,044 ₁ |
| 営業利益 | 645,498 | 521,835 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,373 | 4,223 |
| 受取配当金 | 11,661 | 1,535 |
| 金利スワップ評価益 | 347 | 2,258 |
| その他 | 6,229 | 10,498 |
| 営業外収益合計 | 21,611 | 18,514 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,435 | 10,940 |
| 手形売却損 | 1,309 | 1,986 |
| 為替差損 | 72,703 | 37,356 |
| 開業費 | - | 10,517 |
| その他 | 2,737 | 1,536 |
| 営業外費用合計 | 89,185 | 62,337 |
| 経常利益 | 577,924 | 478,012 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 24 |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,000 | 8,000 |
| 損害賠償金収入 | - | 82,948 |
| 特別利益合計 | 2,000 | 90,972 |
| 特別損失 | | |
| 災害による損失 | - | 3,144 ₂ |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | - | 1,604 |
| 固定資産除却損 | 285 | - |
| 特別損失合計 | 285 | 4,749 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 579,639 | 564,235 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 255,850 | 289,673 |
| 法人税等調整額 | 42,105 | 55,637 |
| 法人税等合計 | 213,744 | 234,036 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 330,199 |
| 四半期純利益 | 365,894 | 330,199 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,882,241 | 2,065,099 |
| 売上原価 | 993,126 | 1,072,848 |
| 売上総利益 | 889,115 | 992,251 |
| 販売費及び一般管理費 | 861,004 | 901,516 |
| 営業利益 | 28,110 | 90,734 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,623 | 1,405 |
| 金利スワップ評価益 | 794 | 140 |
| その他 | 1,308 | 3,195 |
| 営業外収益合計 | 2,137 | 4,460 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,725 | 2,584 |
| 手形売却損 | 467 | 830 |
| 為替差損 | 37,971 | 33,078 |
| 開業費 | - | 1,442 |
| その他 | 1,033 | 445 |
| 営業外費用合計 | 43,198 | 38,381 |
| 経常利益又は経常損失() | 12,950 | 56,813 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,000 | - |
| 損害賠償金収入 | - | 848 |
| 特別利益合計 | 2,000 | 848 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5 | - |
| 特別損失合計 | 5 | - |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 10,944 | 57,661 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14,017 | 74,690 |
| 法人税等調整額 | 23,789 | 61,707 |
| 法人税等合計 | 9,771 | 12,983 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 44,678 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 1,173 | 44,678 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 579,639 | 564,235 |
| 減価償却費 | 162,033 | 172,606 |
| 損害賠償金収入 | - | 82,948 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 3,977 | 5,873 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 137,828 | 123,769 |
| 役員賞与引当金の増減額(は減少) | 1,425 | 800 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 42,405 | 39,167 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 8,575 | 41,051 |
| 受取利息及び受取配当金 | 15,035 | 5,758 |
| 支払利息 | 12,435 | 10,940 |
| 為替差損益(は益) | 15,035 | 1,409 |
| 有形固定資産売却損益(は益) | - | 24 |
| 有形固定資産除却損 | 285 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 478,085 | 484,460 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 273,812 | 202,974 |
| 未払人件費の増減額(は減少) | 11,898 | 7,062 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 212,859 | 102,118 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 161 | 31,278 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 67,358 | 13,319 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 44,040 | 43,724 |
| その他 | 2,186 | 703 |
| 小計 | 808,264 | 858,953 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,491 | 6,011 |
| 利息の支払額 | 12,269 | 11,211 |
| 損害賠償金の受取額 | - | 82,948 |
| 法人税等の支払額 | 426,034 | 412,605 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 376,452 | 524,096 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 100,000 | - |
| 有価証券の償還による収入 | - | 100,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 105,505 | 167,724 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 81 | 567 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 41,450 | 23,945 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 301,074 | 202,544 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 23,369 | 6,582 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 18,220 | 700 |
| その他 | 1,977 | 7,234 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 351,120 | 306,763 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（は減少） | 145,000 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 8,330 | 87,400 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 6,906 | 16,336 |
| 自己株式の取得による支出 | 135 | 30 |
| 配当金の支払額 | 313,099 | 312,678 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 183,470 | 316,446 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 43,849 | 33,079 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 201,988 | 132,192 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,027,048 | 3,852,965 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,825,060 | 3,720,772 |

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

| | |
|-----------------|---|
| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
| 会計処理基準に関する事項の変更 | 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は102千円、税金等調整前四半期純利益は、1,707千円それぞれ減少しております。 |

【表示方法の変更】

| | |
|----------------|--|
| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
| (四半期連結損益計算書関係) | 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。 |

| | |
|----------------|--|
| | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
| (四半期連結損益計算書関係) | 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。 |

【簡便な会計処理】

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------------|---|
| 1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法 | 当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。 |
| 2. たな卸資産の評価方法 | 当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸を基礎とした合理的な方法により算出する方法によっております。 また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。 |
| 3. 経過勘定項目の算定方法 | 固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。 |
| 4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 | 在外子会社及び重要性のない国内子会社において、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。 |

【追加情報】

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------|--|
| (退職給付引当金) | <p>当社は確定給付企業年金法の施行に伴い、平成23年1月に退職金規程の改定を行い、退職一時金制度、及び適格退職年金制度を、確定給付企業年金制度、退職一時金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。</p> <p>本移行に伴い、当第3四半期連結累計期間の退職給付費用は、20,089千円増加しております。なお本移行に伴う過去勤務債務は、131,681千円であり、発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額を、発生年度から費用処理しております。</p> <p>この結果、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ17,609千円減少しております。</p> |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日) | 前連結会計年度末 (平成22年12月31日) |
|--|--|
| 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,556,724千円です。 2 受取手形割引高は260,000千円です。 | 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,446,408千円です。 2 受取手形割引高は200,000千円です。 |

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|---|---|
| 販売費及び一般管理費の主な費目及び金額 給料手当 1,184,713 千円 賃借料 158,428 賞与引当金繰入額 26,228 役員賞与引当金繰入額 7,525 退職給付費用 45,343 役員退職慰労引当金繰入額 8,575 | 1 販売費及び一般管理費の主な費目及び金額 給料手当 1,146,420 千円 賃借料 142,980 賞与引当金繰入額 101,901 役員賞与引当金繰入額 9,300 退職給付費用 57,944 役員退職慰労引当金繰入額 12,232 2 災害による損失 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、当社の茨城県内に所在する水戸商品センターにおいて毀損した製品在庫の損失であります。 |

| 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
|---|--|
| 販売費及び一般管理費の主な費目及び金額 給料手当 426,917 千円 賃借料 52,058 役員賞与引当金繰入額 2,475 退職給付費用 15,114 役員退職慰労引当金繰入額 2,858 | 販売費及び一般管理費の主な費目及び金額 給料手当 369,345 千円 賃借料 44,891 賞与引当金繰入額 77,159 役員賞与引当金繰入額 3,100 退職給付費用 19,314 役員退職慰労引当金繰入額 4,077 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|--|--|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成22 年9月30日現在) | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成23 年9月30日現在) |
| 現金及び預金勘定 3,738,160 千円 | 現金及び預金勘定 3,633,872 千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金等 223,100 | 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金等 223,100 |
| 有価証券勘定 310,000 | 有価証券勘定 310,000 |
| 現金及び現金同等物 3,825,060 | 現金及び現金同等物 3,720,772 |

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日
至平成23年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 9,664,327株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 47,579株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成23年3月30日 定時株主総会 | 普通株式 | 173,102 | 18 | 平成22年12月31日 | 平成23年3月31日 | 利益剰余金 |
| 平成23年8月4日 取締役会 | 普通株式 | 144,251 | 15 | 平成23年6月30日 | 平成23年9月6日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間
末後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)及び 前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)において、当社グループはディスプレイカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業としており、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがありません。このため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)及び 前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)において、全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)

| | 欧州 | その他 | 計 |
|-----------------|--------|--------|-----------|
| | 千円 | 千円 | 千円 |
| ・海外売上高 | 54,984 | 75,467 | 130,451 |
| ・連結売上高 | - | - | 1,882,241 |
| ・連結売上高に占める海外売上高 | 2.9% | 4.0% | 6.9% |

(注)1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

欧州・・・ドイツ、イタリア、他

その他・・・オーストラリア、中国、韓国、他

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)

| | 欧州 | その他 | 計 |
|-----------------|---------|---------|-----------|
| | 千円 | 千円 | 千円 |
| ・海外売上高 | 288,057 | 227,102 | 515,159 |
| ・連結売上高 | - | - | 6,385,800 |
| ・連結売上高に占める海外売上高 | 4.5% | 3.6% | 8.1% |

(注)1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

欧州・・・ドイツ、イタリア、他

その他・・・オーストラリア、中国、韓国、他

【セグメント情報】

当社グループはディスプレイカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

（有価証券関係）

当第3四半期連結会計期間末（平成23年9月30日）

当社が所有する有価証券は、当社の事業の運営において重要なものではないため、記載を省略しております。

（デリバティブ取引関係）

当第3四半期連結会計期間末（平成23年9月30日）

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（ストック・オプション等関係）

当第3四半期連結会計期間（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

| 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日) | | 前連結会計年度末 (平成22年12月31日) | |
|-------------------------------|-----------|---------------------------|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,113.78円 | 1株当たり純資産額 | 1,118.52円 |

2. 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額等

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) | |
|---|--------|---|--------|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 38.05円 | 1株当たり四半期純利益金額 | 34.34円 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | |

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益(千円) | 365,894 | 330,199 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円) | 365,894 | 330,199 |
| 期中平均株式数(株) | 9,616,865 | 9,616,776 |

| 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) | |
|---|-------|---|-------|
| 1株当たり四半期純損失金額 | 0.12円 | 1株当たり四半期純利益金額 | 4.65円 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | |

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日) |
|----------------------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失() (千円) | 1,173 | 44,678 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益又は四半 期純損失()(千円) | 1,173 | 44,678 |
| 期中平均株式数(株) | 9,616,865 | 9,616,776 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

第38期（平成23年1月1日から平成23年12月31日まで）中間配当については、平成23年8月4日開催の取締役会において、平成23年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|------------------------------|-----------|
| 配当金の総額 | 144,251千円 |
| 1株当たりの金額 | 15円00銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成23年9月6日 | |

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年11月15日

クリエートメディック株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野島 透 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 宏之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の平成22年1月1日から平成22年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

クリエートメディック株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野島 透 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 宏之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の平成23年1月1日から平成23年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。